

一般質問



友田 議員

- 一、全国高等学校総合文化祭(長崎大会)に向けた取り組みについて
二、人材育成基金の運用実績とその効果及び今後の用途について

質問

答 弁

一、平成25年に本県での開催が内定し、10万人の参加者が見込まれている。その部門開催地に立候補する考えはないか。教育委員会では参加対象となる児童生徒へ何らかの具体的な取り組みができているのか。

二、この基金は条例の目的に沿う事業に補助金を交付することになっているが、この5年間の実績は国内外への派遣事業だけとなっている。講師を招致した講演会や研修事業にはなぜ補助金が交付されていないのか。この基金でマツカイ市へ派遣する青少年親善使節団は13万円程度の負担が必要であり、それに応じられる人だけが対象となる。これで本当に基金の設置目的に沿えるのか。

限られた市民に用途が偏りがちな派遣事業から、地域活性化のための講演会や研究・研修に用途を拡大すべきではないか。本市出身の劇作家岡部耕大氏が市内各地の民話を元にしたミュージカルを、その地域の子ども達と一緒に作りたいとの構想を持っておられる。本市の文化の向上と地域活性化の観点から、この基金でそれを支援する考えはないか。

一、地方において文化に触れる機会はあまりなく、また、文化会館というすばらしい施設を持っているので、是非誘致に取り組んでいきたい。現在行っている夏休み子ども作品展や小中音楽会の充実指導を図っていききたい。中学校では、平成18年度から長崎県総合文化祭が行われており、本市からも多くの部門に参加させることにより、文化活動への参加意欲を高め、レベルアップを図っていききたい。

二、何かの理由があってということではなく、結果的に申請で受け付けたのが全て派遣事業だったということである。この基金は相当期間経過しており、時代に合った活用方法、育成方法をこの機会に見直していきたい。人材育成基金と文化・スポーツ振興基金をあわせて検討してみたい。基本的には弾力的な運用ができるような用途の拡大を図っていききたい。全面的なバックアップをしていきたいと思っており、基金の見直し等も含めていろいろな条件整備を進めていきたい。

一般質問



下久保 議員

- 一、松浦市後継者育成奨励金交付要綱について
二、松浦市の環境保全への取り組みについて

質問

答 弁

一、この要綱については、各産業とその他自営業の後継者育成と併せて産業育成、定住者増大のための目的も含まれていると考える。そういった中で奨励金の交付実績も少なく運用にあたって市民への周知が少ない等問題点について何か検討がなされているのか。提案として、申請期限を就業より3ヶ月以内ではなく1年以内に延ばす事はできないのか。

二、市例規に基づき松浦市環境審議会を早急に立ち上げ、市民への環境保全啓発活動を推進するべきと考えるがどうか。松浦市は国内でも有数の火力発電所があり、温室効果ガス排出量も非常に多い地域だ。今後先駆的取り組みとして、環境保全基金等を設置し、松浦市と市内の事業者が協力しながら、二酸化炭素排出削減のための施策に取り組むべきと考えるがどうか。

その他、東部交流センターについて、市職員の心のケアについて、県立松浦東高校の閉校問題について質問しました。

一、現在は、回覧等で周知しているが、見なかった等の話を聞いている。今後は、市報や回覧に加え、商工会議所、商工会、農漁協等関係団体にも広報していただき、周知を図ってまいりたい。制度の周知方法と申請期間をセットにして、今後関係諸団体の意見も聞きながら、奨励事業に合った対応になるように検討していきたい。

二、環境審議会については、議会終了後直ちに立ち上げ準備に入りたい。また、環境保全については、一人一人の取り組みが大切であり、市としては粘り強い広報活動に努めてまいりたい。継続的な事業をしていくということであれば、基金創設を前提にした方がよいと考えている。県森林環境税の有効活用、両電力からの支援、工業用水道事業からの捻出等をトータル的に、どういう形で取り組むことができるかについて、検討を指示しているところである。